

教育研究業績書（記入要領）

(1) 「氏名」の欄について、旧姓等の通称名を使用している場合は、（ ）書きで本名を併記してください。

(2) 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

- ① 「研究分野」の欄には、平成 29 年度まで使用されていた科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称又は「科学研究費助成事業 審査区分表（総表）」の中区分の名称（「およびその関連分野」は省略可）を用いて、研究分野の主なものを 3 つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、「系・分野・分科・細目表」の細目又は「科学研究費助成事業 審査区分表（総表）」の小区分を参考に、研究内容を表すキーワードを 5 つ以内で記入してください。なお、各表に該当がない場合は、適宜記入してください。

科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」:

https://www.jsps.go.jp/file/storage/grants/j-grantsinaid/03_keikaku/data/h29/h29_koubo_06.pdf

「科学研究費助成事業 審査区分表（総表）」:

https://www.jsps.go.jp/file/storage/grants/j-grantsinaid/03_keikaku/data/r05/cyukubun_daikubun.pdf

- ② 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（「大学設置基準」第 13 条第 3 号及び第 6 号、第 14 条第 5 号、第 15 条第 2 号並びに第 15 条の 2 第 3 号に該当する者）としての審査を希望する場合には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを 5 つ以内で記入してください。

(3) 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当（予定）授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

④ 「教育上の能力に関する事項」の例

ア 「1 教育方法の実践例」について

○ 授業外における学習を促進する取組、授業内容のインターネット上での公開等

○ 司法研修所等の教育機関における教育経験

○ マルチメディア機器の活用

イ 「2 作成した教科書、教材」の例

○ 授業や研修指導等で使用する著書、教材等

※ 「研究業績等に関する事項」の「著書、学術論文」と重複する場合は、後掲の著書、学術論文の表題の下に「(再掲)」と表示

ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

○ 採用決定の際等における評価内容

○ 各大学における自己点検・評価での評価結果

- 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
- エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
- 大学から受け入れた実習生等に対する指導
- 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
- 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
- オ 「5 その他」
- 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- 国家試験問題の作成等
- ⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例
- ア 「1 資格、免許」
- 医師、歯科医師、薬剤師、獣医師、看護師、管理栄養士、教員等の資格で担当（予定）授業科目に関連するもの
- イ 「2 特許等」
- 特許、実用新案等で担当（予定）授業科目に関連するもの
- ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例
- 大学との共同研究
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- 各種審議会・行政委員会、各種 ADR 等の委員
- 行政機関における調査官等の官職
- 学会・シンポジウム・研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等
- エ 「4 その他」
- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- 論文の引用実績等
- ⑥ 資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

(4) 「研究業績等に関する事項」の欄について

- ① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。
- ② 「著書、学術論文等の名称」の項について
- ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- イ 著書については、書名を記入してください。
- ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。博士論文については、「(博士論文)」としてその旨を明記してください。なお、修士論文は含みません。
- エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

オ 美術関係等の業績として作品集を提出する場合は、別途1部提出してください。なお、作品集については、審査終了後に返却が可能ですので、提出時にその旨を申し出てください。

カ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

キ 当該著書、学術論文等が外国語の場合、著書等名（共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む）はその外国語で記入するとともに、（ ）書きで訳文を記入してください。当該著書等の概要は日本語のみで構いません。

③ 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。なお、学会発表等の場合は「-」を記入してください。

④ 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

⑤ 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

ア 著書については、発行所、版型、総ページ数を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

⑥ 「概要」の項について

ア 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。

イ 当該著書等が共著の場合には、当該著書の概要（200字程度）のほか、以下の事項を記入してください。

・本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ（本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記入すること）。

・本人の氏名（下線を付すこと）を含む著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）（当該著書等に記載された順に記入すること）。

以下、和洋女子大学独自項目

(5) 「その他の教育上の能力に関する事項」の欄について

① 「教育改善に関する研究業績」には、担当授業・実習等での教育分析等を記入してください。

② 「特色ある学生指導」の例について

○ ゼミでの指導方法

○ 学生の産学連携への取り組み推進

○ 教育内容を活用した学園祭企画の実施 など

③ 「学内における教育関係の活動状況」の例について

○ 学内委員としての活動

○ 学科紹介のパンフレット作成

④ 「対外的教育活動」は、「実務の経験を有する者」以外の者が下記の例に該当する場合に記入してください。

○ 自治体や外部団体等の依頼による研修指導等

○ 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修

○ 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

⑤ 「大学院教育への貢献」の例

○ 大学院での講義・指導担当経験

○ 修士・博士論文指導

(6) 「外部資金の実績に関する事項」の欄について

① 「研究テーマ」の項には、当該研究テーマ名称等を記入してください。書類の作成時において未採択のものは記入できません。

② 「代表者・分担者の別」の項には、「代表者」「分担者」「単独」と記入してください。

③ 「交付機関 共同研究機関等」の項には、当該研究機関名・大学名・団体名等を記入してください。なお、科学研究費補助金の場合は課題番号を記入してください。

④ 「期間」の項には、採択期間、実施機関等を記入してください。

⑤ 「概要・成果・金額」の項には、共同研究の場合、本人の氏名（下線を付すこと）を含む全員の氏名（多数にわたる場合は中心となった者数名分）を記入してください。

(7) 「社会貢献等の業績に関する事項」の欄について

教 育 研 究 業 績 書

〇〇〇〇 年 〇 月 〇 日

氏名 和洋 花子

研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
〇〇学、××学、△△学 ※実務者は「□□に関する実務」等の記入も可。		〇〇、××、△△、□□ ※実務者は職務内容を簡潔に説明するキーワードの記入も可。	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項			
事項	年月日	概 要	
1 教育方法の実践例			
1 〇〇の実施	〇〇〇〇年 〇月〇日	毎回授業時に、学生に〇〇を実施、提出させている。〇〇とは……であり、……の面で効果的といえる。	
2 〇〇の体験ワーク	〇〇〇〇年 〇月〇日	〇〇を用いた体験ワークを実施した。××の方法論を踏まえて学生に実践させることで、△△の面で効果的に行えるよう配慮した。	
(不足分は行追加すること) 以下同様			
2 作成した教科書, 教材			
1 『1級〇〇管理士試験対策』 (株)〇〇出版		〇〇管理士の資格取得を目指すテキスト。××という点で特徴がある。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
1 東京〇〇大学 学生による授業評価		担当科目「〇〇」における大学実施の授業評価アンケート〈有効回答人数 100 人、受講者数の98%〉では、〇〇という評価だった。	
2 埼玉〇〇大学 「優良授業賞」受賞		優れた授業を行う教員に贈られる「優良授業賞」を受賞した。この賞は、……。	
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
1 実習生指導		財団法人□□指導員として、専門学校等より受け入れた実習生の指導を行っている。△△という点で特色ある指導を行っている。	
5 その他			
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項			
事項	年月日	概 要	

1 資格, 免許 1 1級〇〇士免許 2 1級〇〇士免許		免許登録番号第 555555 号 平 12 幼 2 第〇〇号
2 特許等 1 〇〇分析装置		特許第 555555 号 (特許の内容)〇〇分析装置は、……………である。
3 実務の経験を有する者についての特記事項 (1)国際××機構 〇〇委員会委員		〇〇委員会委員として△△等を行なっている。
4 その他		

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 〇〇方法論 2 〇〇研究 3 :	単著 共著		〇〇書店 (〇〇研究叢書) A5 判 200 頁 東京〇〇大学××研究所 (A5 判)	1970 年代〇〇の調査方法とその××につ いて比較検討している。 第 1 章第 2 節 東日本における〇〇に関 する統計 東日本における〇〇に関する統計が、企 業マーケティングにおいてどのように活 用されているかを××の手法で分析して いる。 p. 100~120 (共著者: 田中太郎、 <u>和洋花子</u>)
(学術論文) 1 〇〇〇〇〇〇 (博士論文) 2 〇〇の調査に関する統計 資料について (査読付)	単著 単著	学位授与年月	学位授与大学名 『××研究』第 50 卷 2 号	〇〇〇〇・・・・ (200 字程度) ・・・〇〇〇〇 全〇頁 〇〇の東北地方における調査の方法論に ついて、最新の手法とそれによる統計資

3 :				料のメリットとデメリットについて論じている。 p. 22～38
(その他) (翻訳) 1 ○○○ (邦訳表題) ○○○○ 原書名 : ○○○○○○ 原著者 : ○○○○ (口頭発表) 1 ×××における○○の経時的変化 (座談会) 「△△」研究座談会 :	共著		○○○○出版社 ○○学会第○回大会 (於○○大学)	○○○○・・・ (200 字程度) ・・・○○○○ A○判 全○頁 本人担当部分 : ○○○○○○ ・・・○○○○ 監修 : ○○○○ 共訳者 : ○○○○、 <u>和洋花子</u> 、○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○ ○ ○○○○・・・ (200 字程度) ・・・○○○○ 本人担当部分 : ○○○○○○ ・・・○○○○ 共同発表者 : ○○○○、○○○○、○○○○、 <u>和洋花子</u> 、○○○○、○○○○、○○○○ △△の××に関する座談会を主催した。

以下、和洋女子大学独自項目

その他の教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育改善に関する研究業績 1 「××学」の2年間の教育実践状況から考える△△について		○○大学紀要 第99号 p.100～110 ○○大学で担当した「××学」の1年生～2年生の受講態度についての分析をとおり、△△について研究を行った。これは、……。
事項	年月日	概要
2 特色ある学生指導		

1 「△△養護」における学生指導について		〇〇の指導にあたって、××だけでなく□□を行うと同時に、☆☆のまとめをとおして学生のレポート作成能力の向上を目指している。
事項	年月日	概 要
3 学内における教育関係の活動状況 1 教職センター委員としての活動		〇〇大学教職センター委員として、中高教員免許取得を目指す学生の指導に携わった。
事項	年月日	概 要
4 対外的教育活動 1 市川市教育委員会主催 ××講習会		(参加者約 30 名、中学生対象)××についての講習会を実施し、参加者に指導を行った。
事項	年月日	概 要
5 大学院教育への貢献 1 〇〇大学大学院 外国人留学生博士論文指導者		〇〇大学大学院博士課程における外国人留学生(3名)の博士論文作成指導を行った。

外 部 資 金 の 実 績 に 関 する 事 項

研究テーマ	代表者・ 分担者の 別	交付機関 共同研究機 関等	期 間	概 要 ・ 成 果 ・ 金 額
(科学研究費補助金等) 1 △△の変化の研究	代表者	科学研究費補 助金 〇〇研 究(B) (課題番号 00000000)		(概要)……………について (代表者)和洋花子 (分担者)田中隆、山田博 (交付額)計 600 万円
2 □□の及ぼす影響につい て	分担者	科学研究費補 助金 ××研 究(C) (課題番号 11111111)		(概要)……………について (代表者)渡辺洋一 (分担者)田中隆、和洋花子 (交付額)分担交付額 100 万円
3				
(共同研究) 1 2 3				
(受託研究)				

1				
2				
3				
(寄附金)				
1				
2				
3				
(その他)				
1	千葉県南部の〇〇遺跡の研究	単独	千葉県文化振興〇〇基金	(概要)……………について (交付額)計 30 万円
2				
3				
社 会 貢 献 等 の 業 績 に 関 す る 事 項				
公的貢献 (公的審議会・委員会等)				
公的審議会・委員会等の名称等		年月日		概 要
(1) 東京都〇〇文化協会 副委員長				東京都〇〇文化協会の副委員長として、 ……………に携わっている。
生涯学習支援、普及・啓発等				
講座名講演名等		主催者		概 要
(1) 新宿区民 生涯学習アカデミー 講座「日常生活に役立つ××分析」担当		東京都新宿区		(期間)2016年4月～現在に至る (内容)本講座は…を主な対象とし、…について……………。
産学連携等 (技術移転・相談、役員兼業等)				
貢献事例			概 要	
国際貢献・国際交流				
貢献事例			概 要	
その他 (学内学会等は、この欄に記入)				
貢献事例			概 要	

